

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和5年7月13日

釧路市議会議長 畑中 優周 様

会派名 自民市政クラブ

代表者名 草島 守之



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	草島 守之
出張先	(株)小森コーポレーション(つくば市)
期間	令和5年7月5日～令和5年7月6日(2日間)
用務	印刷機械工場について 陸上競技部について
調査(研修) 結果等の概要	別紙参照
備考	

注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。

2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

小森コーポレーション陸上競技部は1950年創部の歴史を誇り、実業団の中で長年に渡り実績を重ねてきたところです。

そのようなもとで道内をはじめ釧路合宿がスタートし2023年度は30年目を迎えるとともに、釧路地域の陸上競技向上を願う関係者の熱意により子ども達を中心とする「陸上教室」の開催が行われ、早いもので10回目を数える大きな節目を刻むこととなりました。

その一方、陸上競技部は2022年度から主要スタッフが一新されることとなり、陸上教室初年度である2013年からお付き合いのあった本川一美監督はじめ高塚和利コーチは退任し唯一、坂本裕二マネージャーが在任となりました。

このような動きの中で一番心配となったのが釧路合宿は継続されるのか！関係者から心配の声が寄せられたところから「陸上教室」を9年間主催してきた釧路活性化プロジェクト実行委員会をはじめ、釧路市生涯学習部スポーツ課と釧路地方陸上競技協会関係者で協議を進めたところ、小森コーポレーション陸上競技部を訪問し正式に釧路合宿の継続をお願いするとともに、今年は節目を迎えるこの機会にお互いに何か出来ることはないのか、また本社への表敬訪問も併せて坂本マネージャーを通じ話し合いを進めて参りました。すると是非「つくばプラント」を見てほしいとの返答から最初に伺うこととなり、坂本マネージャー、加藤監督の案内で伺うと玄関口には田川陸上競技部部長はじめ大山昇司人事本部長と女性職員の出迎えを受け会議室へと案内されました。そしてお互いに挨拶を交わし釧路合宿と「陸上教室」開催による子ども達への競技力向上のお礼と併せ継続のお願いをさせていただきました。そして小森コーポレーション創立100周年、釧路合宿30周年、「陸上教室」開催10周年を迎える今年、何か記念事業は考えられないかとこちらの考えを示したところ、今後、田川部長のもとで対応を進めてほしいとのことでした。

続いて大山本部長より(株)小森コーポレーションの100年の歩みと概要などがプロジェクターを使って説明されました。

「つくばプラント」は延べ面積63,344㎡を有する世界最大規模の印刷機械生産拠点。世界一の印刷機械をお客様の期待に応え高次元で集約し生産体制を構築。そしてものづくりの原点である品質・信頼性を満足の先の感動の領域まで高めるために、最新鋭の工場、研究施設、デモセンター、トレーニングセンター等を配置しています。

KOMORIは1923年の創業以来、社会文化を支える印刷機械づくりに邁進して参りました。その歴史には30年のビジネスサイクルがあり、印刷技術の進歩を通じて日本経済の発展を支えつつ世界の印刷文化に貢献しています。創業から第二次世界大戦までは印刷の機械化で日本経済の創成期を支え、大戦後から今日までの印刷の自動化、カラー化、海外展開などを通じて世界経済及び世界の印刷市場の礎を担っています。

そして1993年に「顧客感動企業」を宣言し、次なる30年(2010～2040)は全世界のお客様に感動いただける製品やサービスを提供し、お客様を起点とした「価値創造活動」を通じて「顧客感動企業」の実現に向けて努力を重ねて行く決意を掲げています。

KOMORIの技術への挑戦の歴史

2023年にKOMORIは創業100年を迎えます。ここで歴史を紐解くとKOMORIは約100年前に営業と技術志向を持った創業者兄弟によってスタートしました。大震災後の中で顧客サービスや独自技術による印刷機械を作ったことでKOMORIの名が世に広まりました。業績が伸びたのは戦後の復興復旧期からでしたが、これは機械のオーバーホールなどで実力をつけて、顧客の要請に応えることで実績ができたためです。

1960年代当時、大蔵省印刷局は海外から高額な証券印刷機を輸入しておりました。この高度成長期は紙幣を増刷する必要委があり証券印刷機を国産化する動きが出てきた時にKOMORIが手を挙げました。

KOMORIの技術者は、短納期に応えるため3か月間昼夜兼行で図面を書き、4～5ヶ月で製造し印刷局に納入したようです。これは当社が本格的に証券印刷機事業に参入する画期的な出来事でした。その後の60年間で200台以上の国内納入実績と英国DLR社やインドでの海外証券印刷機販売の販売実績が加わり、今日では証券印刷機の世界の年間納入シェアの約50%をKOMORIが占めています。

KOMORIは、日本の主要競合メーカーが海外からの技術導入で印刷機械を生産する中で独自技術にこだわり、お客様と一緒に試行錯誤しながら商業印刷機や証券印刷機械を開発することで、今日の技術を確立したのです。製品開発のスピードの速さは40～50年前からお客様の期待に応えるため新技術開発への挑戦を繰り返したことで養われたもので、この姿勢は変わることなく次なる100年に向けて始動へ！

続いて陸上競技部合宿所へ移動し田川部長、加藤監督、坂本マネージャーと釧路市から私と工藤生涯部長で釧路合宿の日程と併せ子ども達を中心とする「陸上教室」の開催内容、そして「陸上教室」10回目、釧路合宿30年、さらに小森コーポレーション創立100周年という節目にあたり、従来より内容を充実した取組みを進めようと確認し合う。

① 釧路合宿を今年は二回実施

一回目は令和5年7月22日(土)～7月28日(金)

二回目は令和5年8月27日(日)～9月4日(月)

② 陸上競技部として釧路市へ初めて表敬訪問(蝦名市長へ)

令和5年7月27日(木) 11:00～11:30

訪問者 陸上競技部 田川部長 加藤監督 坂本マネージャー
金森主将 神戸副主将

小森コーポレーション陸上競技部による夏季合宿
及び「陸上教室」実行委員会 高橋 貢会長

○田川部長より長年釧路合宿で温かく迎え入れていただき感謝
を申し上げるとともに、本社は地域貢献事業の拡大を掲げて
いるところから「陸上教室」の継続と充実を図っていく。

「記念品の配布」など

- ③ 本社より執行役員が来釧し9月1日(金)釧路市長へ表敬訪問
また釧路工業高校と釧路高専に求人案内を行うなど、今後陸競技の
普及だけでなく人事交流も併せて繋がり深めていきたい

このような大きな節目にあたり釧路市から、小森コーポレーション陸上
競技部及び本社に対し何かできないものか協議を進めていきたい
「感謝状、祝賀会など」

令和5年7月6日 つくばプラント



陸上競技部合宿所



坂本 久志

← 田川 部長